

東日本大震災被災地への救援物資の送付について

市職が三津屋商店街の協力を得て開設した市民交流スペース「みつや交流亭」は、全国の商店街が連携して災害時の相互援助システムづくりにとりくむ「北前船ルート蔵屋敷ネットワーク」に参加・協力しているところですが、今回の大震災に際して蔵屋敷ネットワークが、被害のほとんどなかった山形県酒田市の中通り商店街に拠点を設け、そこから緊急車両指定を受けたトラックを用いて、津波で甚大な被害を受けた宮城県南三陸町へ現地配送するルートを確立しました。

このたび、蔵屋敷ネットワークより「みつや交流亭」を通じて、大阪市職員労働組合へ協力の打診がありました。

市職対策本部として、この救援物資の送付のとりくみを支部、組合員の皆さまに広くご紹介し、震災救援のとりくみの一つとすることとします。

ただし、ご承知のように現地はいまだ大変な混乱状態にあります。下記の要領について、厳守いただきますようお願いいたします。

◆送付要領◆

事前に下記の市職対策本部専用メールアドレスへ送付希望物資の種類と数量、返信用のメールアドレスを連絡して下さい。市職対策本部が、現地に受け入れ可能かどうか問い合わせます。

大阪市職地震対策本部専用メールアドレス：shien2011@osaka-shishoku.jp

現地から受け入れ可能な返信がありましたら速やかに返信用のメールアドレスに連絡しますので、各自で、下記送付先に直接送付をお願いします（藤波雅浩：酒田市中通り商店街の担当者）。

配送業者： ヤマト運輸

住 所： 〒998-0044 山形県酒田市中町1-7-7

宛 名： 藤波 雅浩 様方 電話：0234-22-0183

※ 送付物資は、22日より開始された大阪市の窓口への受け入れ物資（毛布、水ペットボトル、タオル、ウェットティッシュ、紙おむつ）以外で、特に現地からの要望の高い、別紙に記載の物品に限定させていただきます。（物資の重複回避とルートの独自性発揮のため、今後、種類の拡大も可能性あり）

大阪市職地震対策本部からのお知らせです

東北地方太平洋沖地震は発生から 10 日以上経過し、避難所暮らしの被災者の健康などに懸念が増しているところです。

そのようななか、全国の商店街が連携して災害時の相互援助システムづくりにとりくむ「蔵屋敷ネットワーク」では、津波で壊滅的な被害をうけた南三陸町への救援物資搬送について独自のルートを確認させたところです。

市職対策本部には、市職が三津屋商店街の協力を得て開設した市民交流スペース「みつや交流亭」のご縁で、このルートの紹介と救援物資の送付について、協力の要請があったところです。

市職として、このとりくみを皆さまにご紹介し、震災救援のとりくみの一つとすることとします。ただし、ご承知のように現地はいまだ大変な混乱状態にあります。以下の手順を必ず守っていただくようお願いいたします。

Step1【救援物資を確保する】 当面以下の品目に限定します（新品もしくは未開封に限る）

- ・使い捨てカイロ
- ・ゆたんぼ
- ・使い捨てマスク
- ・ひげそりとクリーム
- ・下着
- ・靴下
- ・調味料（みそ、醤油、マヨネーズ、油等）
- ・缶詰
- ・コーヒー
- ・アルコール消毒薬
- ・手指消毒（プッシュ式）
- ・脱脂綿
- ・一般市販の薬（感冒薬、頭痛薬など、目薬、オロナイン等、バンドエイド等）

Step2【市職地震対策本部にメールする】

大阪市職地震対策本部専用メールアドレス：shien2011@osaka-shishoku.jp

メールには、支部、氏名、物資の種類と数量、返信用のメールアドレスを記入して下さい。

Step3【市職地震対策本部から返信メールが返ってくる】

現地で受け入れ可能な返事があれば、速やかに返信しますので、物品を梱包し、発送準備をして下さい。

Step4【救援物資を以下の住所に発送する】

配送業者： ヤマト運輸

住所： 〒998-0044 山形県酒田市中町 1-7-7

宛名： 藤波 雅浩 様方 電話： 0234-22-0183

Step5【現地で集積・仕分けが行われ南三陸町に発送される】

山形県酒田市の中通り商店街の拠点 → 緊急車両指定を受けたトラック → 津波で甚大な被害を受けた南三陸町へ現地配送

多くの皆さんの暖かいお気持ちを、救援物資のせて南三陸町に送りたいと考えています。

ご理解と、ご協力、ご支援をお願いします。

◆◆【手順を守って、被災地の人に迷惑をかけないようにしましょう】◆◆